

「街かどミュージアム都市づくり」の展開

リーディング プログラム

民間の「街かどミュージアム」の登録の推進

- 市民の文化活動に寄与し、市民に対する公開又は市民の利用が可能な民間施設等を把握し、「街かどミュージアム」の登録を積極的に進めます。
- そのため、登録制度を整備するとともに、登録内容のデータベースの作成、公開、共有を図ります。

「街回遊展」の全市的な展開

- 「街回遊展」については、地域のまちづくりとの連携を強化し、市内各地における開催を進めます。
- 「街回遊展」の開催にあたっては、市民が主体となり、事業者及び市との協働の実行体制を整備するとともに、期間限定のイベントから日常的なまちづくり活動への展開を図ります。

地域の「(仮称)文化の街かど・まちづくり計画」策定の推進

- 地域における「街かどミュージアム」の登録促進、活用管理、情報ネットワークの形成及び文化的な街づくりを進めるために、それらに係る地域の「(仮称)文化の街かど・まちづくり計画」の策定を図ります。
- 計画の策定にあたっては、地域住民等による協議会が主体となり、市はその活動を支援します。また、「街回遊展」を開催した地域をモデル地区として計画の策定を進めます。

「街かどミュージアム」の拠点と情報ネットワークの整備

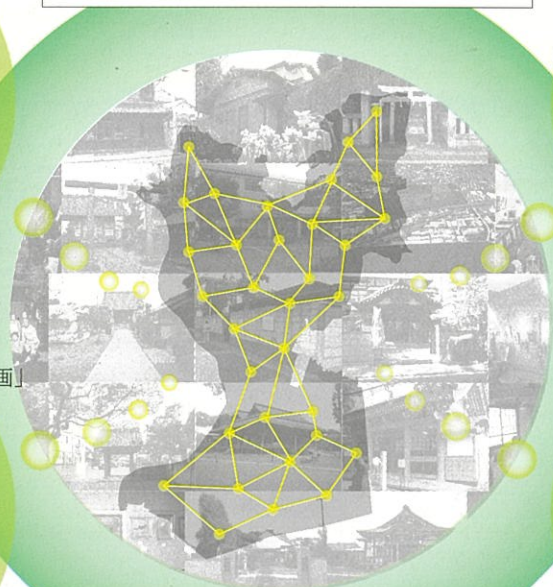
- 市に寄贈された民家等を活用した「街かどミュージアム」については、地域の文化活動の拠点として、住民参加の管理運営体制を整えるとともに、周辺を含めた環境整備を進めます。
- 市所有の美術品や歴史資料をはじめとした文化的資料のデジタル化を進めるとともに、民間施設を含めた「街かどミュージアム」の文化情報をデジタル化し、「デジタルミュージアム」の整備を進めます。

民間の「街かどミュージアム」の登録の推進



リーディングプログラム

「街かどミュージアム都市づくり」の展開



「街回遊展」の全市的な展開



地域の「(仮称)文化の街かど・まちづくり計画」策定の推進



「街かどミュージアム」の拠点と情報ネットワークの整備



市川市文化振興ビジョン 【ダイジェスト版】

彩り豊かな文化と芸術を育む

「文化都市」の実現に向けて

「市川市文化振興ビジョン」は、市川の様々な文化資源を活用した取り組みを市民と事業者と市が連携しながらすすめ、「文化都市・市川」を実現するための道筋を明らかにするものです。

このビジョンは「市川市基本構想」を上位計画とし、2025年度を目標年次とした市川の文化振興を担う中長期的プランです。

平成15年3月
市川市文化部



文化都市

市川は、水と緑が織りなす自然環境の中で、文化の土壌が育まれ、まちを舞台に地域に根ざした様々な文化活動が繰り広げられています

1. ビジョン策定の背景と目的

- 近年、社会状況が大きく変化する中で、文化の振興はますます重要なものとなってきています。
- 市川は、江戸川のゆったりとした流れと貴重な斜面林の緑、閑静な住宅地に点在する黒松など、水と緑が織りなす自然環境の中で、古くから文化と芸術の土壌が育まれてきました。
- 市政においても、「文化都市」の実現を目標とし、文化振興に係る各種施策・事業を進めてきました。
- 今後は、これらを活かして市民の文化活動のさらなる促進を図るとともに、「文化都市」にふさわしいまちづくりを計画的かつ体系的に進めていくことが求められています。
- そこで、市民と事業者と市が協働して取り組む文化振興の目標や基本方針などを明らかにするため、ここに「市川市文化振興ビジョン」を策定しました。

2. ビジョンの性格

- このビジョンは、「市川市基本構想」を上位計画とし、2025年度を目標年次とする文化振興に係る中長期的プランとして位置づけます。
- また、それを実現する方策や体制を示し、市民と事業者と市の連携による個性ある地域づくり及び文化行政を進める上での指針とします。

1. 文化に関する基本的な考え方

- 文化は、私たち一人ひとりの価値観から経済活動まで、暮らし方の全てを含みます。それらの総体は「まちの文化」として表れています。
- 「まちの文化」の中心をなす芸術は、私たちの生活にゆとりや安らぎをもたらし、人生を豊かにし、文化振興を牽引する役割を担っています。
- 地域の文化資源や地域に根ざした文化活動等は、それ自体が固有の価値を持つだけでなく、地域への誇りや愛着を深め、「まちの文化」として住民共通のよりどころとなります。

2. 文化振興の基本的な課題

- 市内には、それぞれの地域において、自然や歴史、そこで暮らす人々の生活等を反映した「まちの文化」が見られ、地域に根ざした文化振興が求められています。
- そのためには、地域を彩る豊かな文化資源のストックを活用するとともに、地域に根ざした文化活動の促進、うるおいとゆとりのある市街地の形成が基本的な課題となっています。

3. 文化振興の基本的な視点

- 文化振興にあたっては、市民の発意を尊重するとともに、誰もが等しく文化活動に参加できるような環境を整える必要があります。
- また、地域を重視し、様々な文化資源を有効に活用するとともに、教育、福祉、商工業、街づくり等の様々な分野の取り組みと連携し、都市としての基盤を整え、都市の質を総合的に高めていく必要があります。

4. 文化振興の目標

- 本市は、彩り豊かな文化と芸術を育む「文化都市」の実現をめざします。
- それは、都市としての質が高く、市民一人ひとりが市川に暮らすことに誇りと愛着を感じることでできる都市です。
- 「文化都市」の実現に向けて、地域の文化資源や文化活動の場の活用と整備を図るとともに、文化活動の支援や文化情報の発信、魅力を高め交流を深める街づくりなどを進めます。



地域を彩る 文化資源の 保全・活用

基本方針

文化財はもとより、市内各地で育まれてきた伝統文化や自然環境、歴史的資産を保全するとともに、身近な地域における施設や人材、活動など様々な文化資源を発掘・再評価し、それらの積極的な活用を図ります。

1. 文化財等の保存・継承・活用

埋蔵文化財の発掘調査及び歴史的な価値の高い建築物等の文化財登録を進めるとともに、史跡等の文化財、地域の伝統文化、民俗文化等を計画的に保存・継承し、それらの活用を図ります。

2. 自然環境の保全・活用・再生

黒松、斜面林、巨木、屋敷林等の緑地環境、東京湾や江戸川、真間川等の水辺環境を保全するとともに、農地や遊水池等を含めそれらの活用を進めつつ、緑地や水辺の回復、水質の改善等を図ります。

3. 身近な地域の文化資源の 発掘・再評価・活用

身近な地域における文化施設や景観上重要な建築、芸術や伝統文化等に係る人材、文化振興に係る各種活動を発掘・再評価するとともに、それらのデータベースを作成し、積極的な活用を図ります。

文化活動の 拠点と回遊 ルートの整備

基本方針

既存の文化施設及び市に寄贈された民家等の施設整備、民間の文化施設及び公民館や学校施設等の各種公共施設の有効活用により、地域における文化活動の拠点を確保するとともに、それらと地域の文化資源を歩いて回るルートの整備を図ります。

1. 既存施設、寄贈民家等を 活用した拠点整備

文化会館、各博物館、中央図書館等は、市全体の文化施設の拠点として、より一層市民のニーズを反映した運営と施設整備を図るとともに、市に寄贈された民家、公園施設等を活用し、文化活動の拠点の整備を進めます。

2. 民間施設、各種公共施設を 活用した文化活動の場の確保

民間の文化施設、公民館や学校施設等の有効活用を進め、地域における文化活動の場の確保を進めます。

3. 文化活動の拠点を結ぶ回遊ルートの整備

地域の文化施設や地域の個性を形成する緑や水辺、旧跡などを結ぶ道筋について、まちあるきマップや地域住民によるガイドシステムの構築、効果的な案内板やサインの改善、沿道景観の向上等により、歩いて楽しい道づくりの整備を図ります。

4. 歩いて回れる総合的な交通計画の推進

各地域の文化活動拠点への交通手段は、徒歩、自転車及び公共交通機関を基本とし、レンタサイクルや地区単位の駐車場、巡回バスの導入等により、総合的な交通計画を進めます。

豊かな心を 育む文化活動 の支援

基本方針

次代を担う子どもたちをはじめ、市民の誰もが芸術に親しみ、自ら文化活動に参加できるように、学校教育、文化事業等を充実するとともに、市民や事業者、各種団体等が連携・協力して、それらの場や機会の拡充を図ります。

1. 学校と地域の連携による 子どもの文化活動の推進

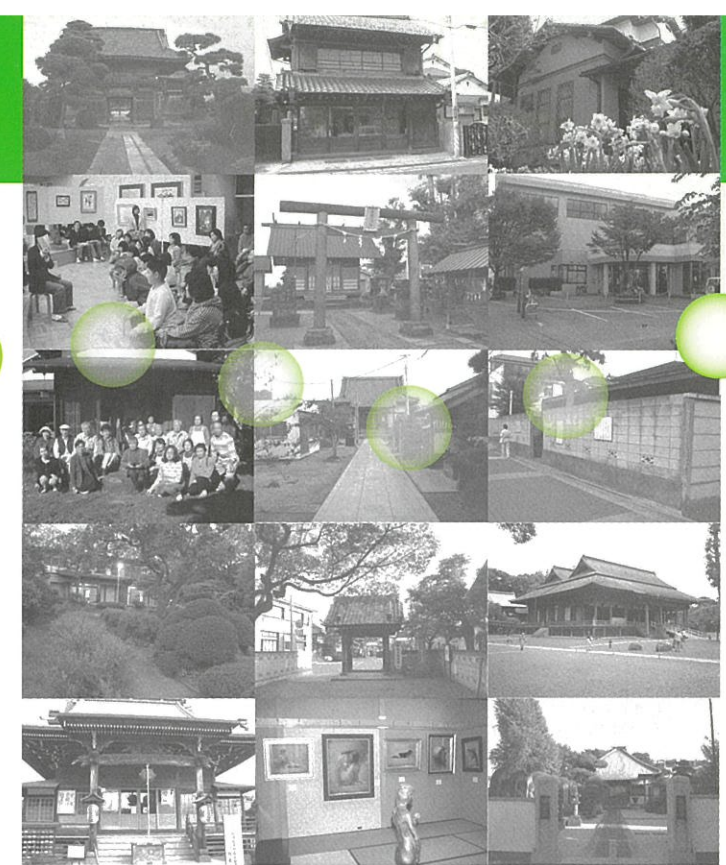
一人ひとりの個性と豊かな人間性を育み、自ら創造する子どもを育てるために、保育園・幼稚園・学校等において芸術や地域文化に係る教育を充実するとともに、市民等の協力を得て子どもの文化活動を進めます。

2. 障害者、子育て家庭等に対する 文化活動プログラムの充実

障害者や子育て家庭等が芸術に親しみ、自ら文化活動に参加できるように、公民館や文化会館等のプログラムの充実を図ります。

3. 芸術に親しみ触れる機会の拡充

市民の誇りとなる文化人を顕彰するとともに、市及び市民等が保有する美術品の公開や上演団体の招致等により、芸術や文化に親しみ触れる機会を拡充します。



4. 文化振興に係る人材の育成・確保

市民の人材等を活用して地域における相互支援体制の確立を図るとともに、まち案内や文化イベント、施設管理等に係る市民ボランティアの育成及び確保、市内で活動する新人アーティストの発掘、育成を図ります。

5. 市民の自主的な文化活動に 対する支援体制の充実

市民の自主的な文化活動の促進を図るため、市川市文化振興財団や民間企業、NPO法人等を通じた間接的な支援体制の充実を図ります。

「文化都市」
の実現に向けて

文化情報の
発信と文化
交流の促進

基本方針

映像やインターネット等の媒体を駆使し、市川の文化に係る情報ネットワークを構築するとともに、市川の個性や魅力の情報発信を進めます。また、文化交流を通して、国際交流や国際理解の促進を図るとともに、人権の尊重や男女共同参画による多文化共生社会の形成を図ります。

1. 文化活動を支援する
情報ネットワークの構築

市内の文化施設や大学、各種団体が連携して、文化資源や文化活動に関する情報ネットワークを構築し、情報の共有化を図ります。また、インターネット等の活用により、市民が手軽に文化情報を得ることが出来るように環境整備を進めます。

2. 市川の個性や魅力の情報発信

市の広報やホームページ、広報映像などを通して、市川の個性や魅力の情報発信を進めるとともに、様々な機会や媒体を利用し、市外への市川のシティーセールス活動を進めます。

3. 国際交流と国際理解の促進

地域在住外国人との文化交流等を通して、地域における国際交流と国際理解の促進を図るとともに、世界平和に対する市民意識の高揚を図ります。

4. 人権を尊重する社会、
男女共同参画社会の形成

多様な文化交流を通して、差別や偏見のない「自己実現、自立、社会参加」の権利を実現し、人権を尊重した社会の形成をめざします。また、男女がお互いに人権を尊重し、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現をめざします。

魅力を高め
交流を深める
街づくりの
推進

基本方針

市川を特徴づける景観の保全やルールづくり、身近な公共空間の環境整備等により、文化都市にふさわしい美しく魅力的な都市景観の形成を進めるとともに、地域の文化活動と街づくりの連携を図ります。

1. 市川を特徴づける景観の
保全とルールづくり

黒松、斜面林、歴史的建造物等、市川の個性を形づくってきた景観を保全・継承するとともに、それらを含めた住環境のルールづくりや維持管理活動等により、美しく魅力的な都市景観の形成を進めます。

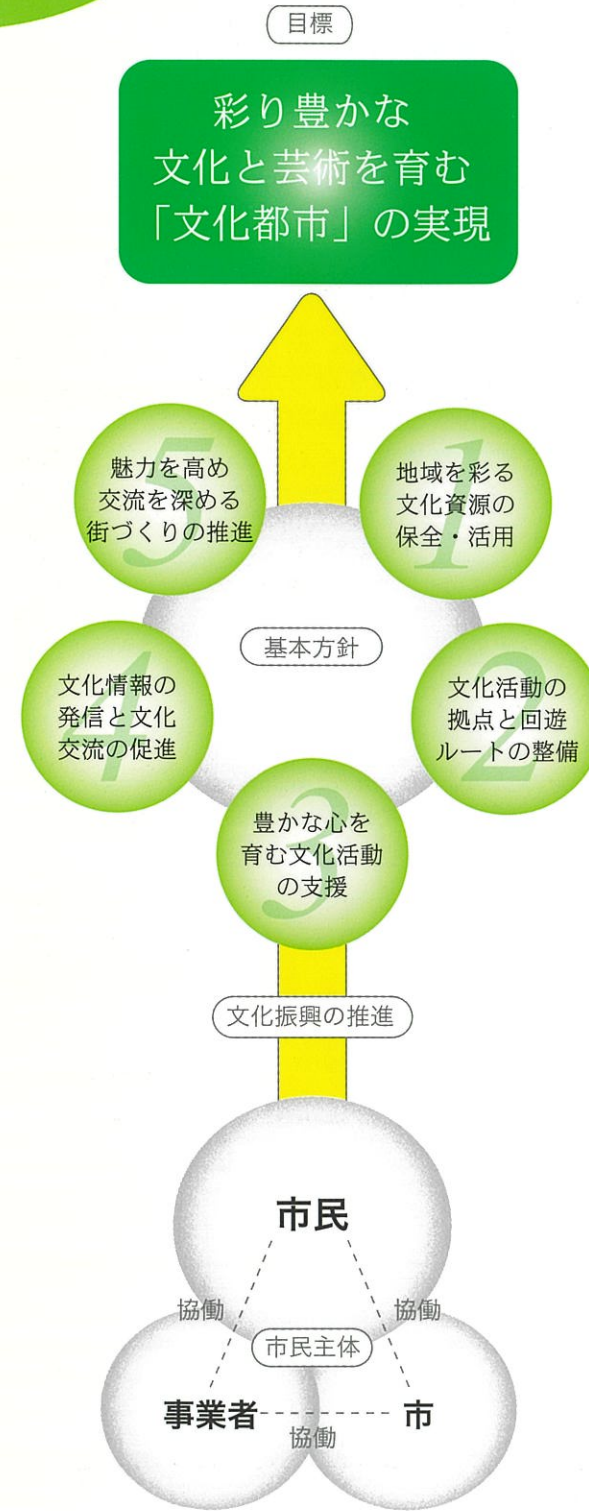
2. 文化の視点を組み入れた
身近な公共空間の環境整備

市街地整備に文化の視点を組み入れ、道路や公園、駅前広場等の身近な公共空間のユニバーサルデザイン、周辺景観やデザインに配慮した公共施設の整備を進めるとともに、住民参加の環境美化活動を進めます。

3. 地域の文化活動と連携した
個性的な街づくりの推進

商店街の活性化や住環境の維持・改善等にあたっては、地域の文化活動との連携を図り、各種イベントの開催等により個性的な街づくりを進めます。

目標
彩り豊かな
文化と芸術を育む
「文化都市」の実現



「行政の文化化」とは・・・

職員、組織、運営方法などを含めた行政自体と行政施策に人間性、創造性、美観性、地域性などの文化の視点を盛り込み、それぞれの業務を市民の視点から見直すことにより、行政全体の質を高めていくものです。

1. 市民と事業者と市の協働体制の整備

- 文化振興の推進にあたっては、市民が主体となり、市民、事業者及び市が各々の役割を果たしつつ互いに補い合い、協働して取り組む必要があります。
- そのため、今後制定する条例に文化振興の視点を組み入れるとともに、市民、事業者、市による推進組織を設立し、全市的な文化振興と個性ある地域づくりの推進を図ります。

2. 文化行政の推進体制の整備

- 文化振興の推進にあたっては、行政組織及び施策に文化の視点を盛り込み、それぞれの業務を市民サービス・費用対効果の視点から見直すことにより、行政全体の質を高めていく必要があります。
- そのため、全庁横断的な推進体制を整備し、文化振興施策の計画的な推進と行政の文化化を図ります。

3. 市川市文化振興財団の機能の拡充

- 市川市文化振興財団は、市民・事業者等の協力を得ながら、本市の文化振興に係るセンター組織として、その機能の拡充を図り、市民における文化芸術の普及及び向上に係る各種事業を進めるとともに、市の文化施設等の管理運営等を図りながら、文化事業に係る人材育成、助成金の交付等により市民の各種文化活動を支援します。

